

## 令和4年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和5年2月10日（金） 14：00～15：20

○場 所：役場4F第3第4委員会室

○出席者：委員及びオブザーバーの計13人、町事務局等15人

○協議内容と主な意見等

- ・「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要及び昨年度までの取組状況、令和3年度の数値目標の評価、各種推進施策の進捗状況、「デジタル」を活用した地方創生について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

### ●令和3年度の数値目標に対する評価について（KPI：重要業績評価指標）

- ・計画の最終年度である令和7年度の目標値を現時点で達成している指標の目標値について、数値の上方修正を行うことを今後検討してはどうか。
- ・今回、道の駅の来場者数の目標値を修正した（データの間違いのため）が、駐車場不足という課題があるため、その対策を検討することが必要と思う。

### ●推進施策の取組状況について

- ・幸田町でロケした映像作品に登場するキャラクターを各施設に配置し、町内を巡るイベントを過去に実施していたため、今後もそうした取組を進めてほしい。
- ・ロケツーリズムの効果を評価する方法として、町民が価値を感じていなかった新たな魅力が発掘されたかを定性的に評価することも考えられる。
- ・古民家 ogi にあるテレワーク設備を利用してもらうためには、そうした働き方ができる施設としての利用を促す取組を進める必要がある。
- ・事業の実績評価で、シニア・シルバー世代の就労希望が多い状況にあることがわかった。他の自治体の取組も参考にして、活躍の場をさらに作る取組を進めてほしい。
- ・多世代交流施設である豊坂ほっと館は誰でも利用できる施設だが、子どもと高齢者がそれぞれで利用しているため、幅広い世代の交流につながる取組を積極的に進めてほしい。

### ●「デジタル」を活用した地方創生について

- ・本計画を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改定する際は、デジタルに拘らず、これまで取り組んできたまち・ひと・しごと創生の考え方をベースにしなが、デジタルを活用する観点で取り組んだ方がよい。
- ・町民が抱えている課題を洗い出し、課題解決にデジタルをどう活用できるかという考えを持って施策や事業を考えた方がよい。当事者にならないと分からない課題も多いため、似たような課題を抱えている方々に議論してもらう場を設けることが大切になる。
- ・妊娠中に自宅安静となって1歳児の預け先を探す際にファミリー・サポート・センターや民間の保育園に相談したが、対面での面談が必須と言われて利用を諦めたことがある。Web等を活用して、オンラインでの面談等の方法を取れたら良かったと思う。

以 上